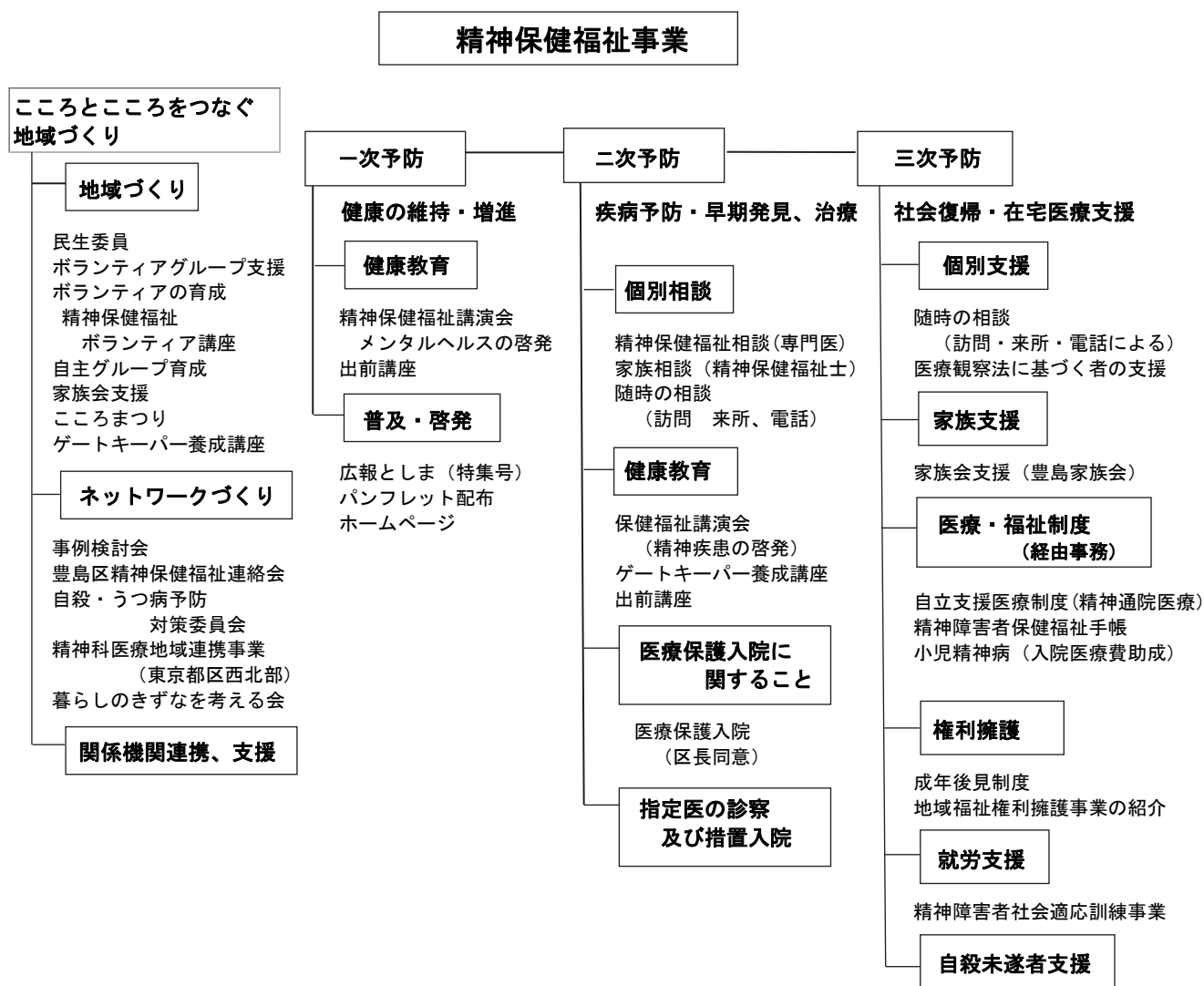


12. 精神保健

精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（以下、「精神保健福祉法」という）や障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（以下、「障害者総合支援法」という）に基づき、地域住民の精神的健康の保持・増進、精神障害者の早期治療の促進を図るとともに、精神障害者の社会復帰及び自立と社会経済活動への参加と促進に向けて取り組んでいるところである。

なお、精神保健福祉法の「精神障害者」とは、統合失調症、精神作用物質による急性中毒又はその依存症、知的障害、精神病質その他の精神疾患を有する者をいう（第5条）。



<根拠法令>

- 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（精神保健福祉法）
- 地域保健法
- 障害者基本法
- 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律（障害者総合支援法）
- 心神喪失等状態が重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察法）

[1] 精神疾患の発生予防と精神的健康の保持増進

(1) 普及・啓発

年度	区分	開催回数 (回)	参加人数 (人)	26年度テーマ (主なもの)
22年度		14	1,679	① 精神保健福祉講演会 (池袋保健所) 6回: 延べ348人 7月16日「脱法ドラッグ防止指導者講習会」 8月26日 豊島区「違法ドラッグ・脱法ドラッグ撲滅都市宣言」特別講演会「薬物問題を考える」 10月2日「統合失調症について」 11月18日「眠りとこころの健康」 12月4日「お酒で困っている人への関わりかた」 3月5日「大切な人がうつになったとき」
23年度		14	1,355	
24年度		15	1,316	
25年度		19	1,754	
26年度		19	1,438	
	池袋	16	719	② こころまつり (長崎健康相談所) 1回: 707人 ③ 精神保健福祉ボランティア講座 (長崎健康相談所) 2回: 12人
	長崎	3	719	④ ゲートキーパー養成講座 (池袋保健所) 10回: 延べ371人

(2) 薬物乱用防止普及啓発

薬物乱用の根絶を目指し、東京都、警察、教育委員会等関係機関との連携により、薬物乱用防止の普及啓発活動を推進する。また、東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会の活動を支援し、地域に根ざした普及啓発活動を効果的に行なった。

26年度の主な取組み
<ul style="list-style-type: none"> ・東京都薬物乱用防止推進豊島地区協議会、帝京平成大学との連携による街頭キャンペーン実施 ・脱法ドラッグ防止指導者講習会開催 (再掲) ・「違法ドラッグ・脱法ドラッグ撲滅都市宣言」特別講演会「薬物問題を考える」開催 (再掲) ・東京都薬物乱用推進豊島地区協議会委員との研修会・勉強会を開催 (7回) ・区内小学校で薬物教室を実施 ・中学生を対象とした薬物乱用防止啓発用ポスター、標語の募集 ・ふくし健康まつりにて、薬物乱用防止啓発チラシを配布

(3) 精神保健福祉相談

精神疾患が疑われる者並びに関係者に対し、専門医による相談を行なうとともに、随時、保健師等による相談、又は訪問活動を行なっている。

① 訪問指導・精神保健福祉相談（随時の所内相談・電話相談）

（ ）は実数（単位：件）

訪問指導	区分	合計	一般	社会復帰	老人精神	心の健康づくり	児童・思春期	依存症	その他	保健師	福祉
	年度										
	22年度	331	266	5	0	41	3	12	4	(112)287	(29)44
	23年度	392	276	21	4	79	7	5	0	(161)373	(19)19
	24年度	574	447	14	30	74	0	8	1	(204)570	(4) 4
	25年度	417	321	10	3	65	9	6	3	(191)417	(0) 0
	26年度	381	264	7	12	81	9	6	2	(176)374	(3) 7
	池袋	204	134	7	8	43	7	3	2	(111)197	(3) 7
	長崎	177	130	0	4	38	2	3	0	(65)177	

所内面接・電話・文書等相談	区分	合計	一般	社会復帰	老人精神	心の健康づくり	児童・思春期	依存症	その他	保健師	福祉
	年度										
	22年度	3,189	2,633	94	35	238	29	143	17	2,507	682
	23年度	3,302	2,586	181	53	272	49	142	19	2,838	464
	24年度	3,791	2,707	589	73	270	49	91	12	3,319	472
	25年度	2,872	2,385	185	41	160	31	30	40	2,798	74
	26年度	3,543	2,905	100	56	312	72	54	44	3,527	16
	池袋	1,896	1,393	90	45	243	46	41	38	1,880	16
	長崎	1,647	1,512	10	11	69	26	13	6	1,647	

② 精神保健福祉相談（定期）

区分 年度	専門相談			
	精神保健福祉相談（精神科医師）		家族問題相談（精神保健福祉士等）	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
22年度	18	45	11	21
23年度	18	33	12	20
24年度	17	40	12	20
25年度	18	51	12	28
26年度	18	47	12	24
池袋	12	29	12	24
長崎	6	18		

③ 関係機関連絡

(単位：件)

年度 \ 区分	合 計	医療機関	福祉関係	保健関係	その他
22年度	2,066	535	1,121	272	138
23年度	2,393	1,076	978	182	157
24年度	2,119	556	1,149	309	105
25年度	1,470	359	843	167	101
26年度	1,836	532	955	167	182
池 袋	1,035	355	507	105	68
長 崎	801	177	448	62	114

[2] 医療

(1) 精神障害者の入院に対する区長同意（精神保健福祉法第33条3項）

医療保護入院の必要があるとの指定医による診察結果があり、本人の入院同意が得られない精神障害者において、家族等がない場合又はその家族等の全員がその意思を表示することができない場合において、区長の同意があるときは、同意書を交付する。

(単位：件)

年度 \ 区分	交付数
22年度	63
23年度	71
24年度	64
25年度	73
26年度	56

(2) 指定医の診察及び措置入院

精神障害者の診察及び保護の申請と警察官による通報（精神保健福祉法第22条・23条）

法22条 … 精神障害者又はその疑いのある者を知った者は、誰でもその者について指定医の診察及び必要な保護を保健所長を経由し都知事に申請することができる。

法23条 … 警察官は、精神障害のため、自傷他害のおそれがあると認められるものを発見したとき、最寄りの保健所長を経由し都知事に通報しなければならない。

□池袋保健所

(単位：件)

年度 \ 区分	診察及び保護申請	警察官通報
22年度	0	62
23年度	0	71
24年度	0	85
25年度	0	68
26年度	0	91

(3) 自立支援医療（精神通院医療）

精神疾患のため通院による治療を受ける場合、医療費に継続的な負担がかかる。障害者総合支援法にもとづき、通院医療費の負担軽減を図る制度である。

□申請取扱件数

(単位：件)

区分 年度	申請件数	申請件数（内訳）				
		新規	更新	再開	他県転入	変更等
22年度	4,217	490	2,257	214	32	1,224
23年度	4,747	469	2,666	265	40	1,307
24年度	5,082	524	2,657	281	47	1,573
25年度	5,419	595	2,833	280	85	1,626
26年度	5,446	439	2,933	308	68	1,698
池袋	3,323	277	1,779	180	37	1,050
長崎	2,123	162	1,154	128	31	648

□疾病分類別申請数（診断書提出分）

(単位：件)

分類	年 度					26年度	
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	池袋	長崎
症状性を含む器質性精神障害	13	45	29	43	44	30	14
精神作用物質使用による精神及び行動の障害	64	108	71	88	74	43	31
統合失調症、分裂病型障害及び妄想性障害	410	857	448	592	513	271	242
気分（感情）障害	565	1,160	786	874	795	537	258
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	71	165	130	152	120	78	42
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	6	11	7	11	6	5	1
成人の人格及び行動の障害	7	11	15	11	17	14	3
精神遅滞	8	21	11	30	19	8	11
心理的発達の障害	18	38	42	38	52	35	17
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害	2	5	9	17	19	13	6
特定不能の精神障害	0	0	0	0	0	0	0
てんかん	37	99	57	92	74	46	28
睡眠障害	0	1	0	2	0	0	0
その他	0	0	0	1	0	0	0
総 数	1,201	2,521	1,605	1,951	1,733	1,080	653

(注1) 疾病分類は、保健師業務年報に準じた区分。

(注2) 申請数を認定数とみなす。

(注3) 平成22年度から更新時の診断書の提出が2年に1度となったため、新規申請及び診断書提出のある更新申請のみ記載。

(4) 小児精神障病（入院医療費助成）

□申請数 (単位：件)

年度	区分	総数
22年度		4
23年度		1
24年度		2
25年度		5
26年度		3
	池袋	3
	長崎	0

[3] 社会復帰及び自立と社会参加の促進

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付状況 (単位：件)

年度	区分	総数	新規交付 (1級)	新規交付 (2級)	新規交付 (3級)	更新 (1級)	更新 (2級)	更新 (3級)
22年度		634	9	100	127	27	211	160
23年度		714	13	98	161	31	246	165
24年度		757	13	86	168	27	256	207
25年度		848	8	79	172	24	317	248
26年度		924	15	92	206	27	283	301
	池袋	599	8	72	156	17	160	186
	長崎	325	7	20	50	10	123	115

(注) 手帳の有効期限は2年間。

(2) 障がい者生活訓練事業（保健所デイケア）

回復途上にある精神障害者に対する日常生活における自立援助を実施することにより、社会復帰への適応を図るため、平成元年度から池袋保健所、平成2年度から長崎保健所（現・長崎健康相談所）で週3回実施していた。平成19年度から池袋保健所一か所に統合し、週1回（毎週水曜日）、利用期間を原則2年間とした。

内容は、専門スタッフの支援のもとに、グループによる料理・創作活動・レクリエーション・自立支援事業所見学などであった。

□実施状況

年度	区分	実施回数(回)	実利用者数(人)			延利用者数(人)			延見学者(人)	家族会	
			計	男	女	計	男	女		回数(回)	参加者(人)
22年度		95	11	9	2	221	182	39	284	3	18
23年度		96	14	11	3	368	316	52	417	3	16
24年度		100	14	11	3	699	559	140	386	3	16
25年度		76	9	7	2	364	354	10	189	2	16

(注) 25年度で事業終了した。(平成25年12月まで週1回実施)

(3) ノーマライゼーションの推進(再掲)

長崎健康相談所では、精神障害者の社会参加をすすめるため、地域活動支援センターや自助グループ、ボランティア等の関係機関と協働して企画・運営し、地域住民との交流の場としての「こころまつり」を開催している。

実施日時	平成26年11月15日(土) 午前10時45分～午後2時30分
実施場所	長崎小学校
周知方法	区広報紙、手作りポスター、チラシ、ホームページ等
参加人員	707名
企画運営	実行委員会方式で行なっており年9回延92名の参加
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 販売コーナー(手工芸品・軽食・リサイクル品等) ② 体育館企画(長崎獅子舞・ダンスステージ・バンド演奏等) ③ こころの健康展示コーナー ④ 精神保健福祉関係の社会資源紹介コーナー ⑤ 保育園児によるこころの絵 ⑥ スタンプラリー

(4) 自主グループの支援

年度	区分	ポトスペース		ララ	
		回数(回)	参加者数(人)	回数(回)	参加者数(人)
23年度		47	710	12	40
24年度		48	708	36	159
25年度		43	557	35	145
26年度		44	479	38	147

(注) ポトスペース：としまコスモスの会(豊島区精神保健福祉を進めるボランティアグループ)によるフリースペースの運営、ララ：自助グループ。

(5) 精神障害者の家族への支援

家族同士の交流・情報交換を行ない、当事者の病気や障害を学び合う「燦々会」が、池袋保健所で行なわれている。

年度	区分	回数 (回)	延人数 (人)
22 年 度		8	74
23 年 度		10	81
24 年 度		12	112
25 年 度		11	99
26 年 度		11	138

(6) 心神喪失等の状態で重大な他害行為を行なった者の支援

平成17年7月6日、「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行なった者の医療及び観察等に関する法律」(以下、「医療観察法」と略す)が公布された。「重大な他害行為」とは、殺人、放火、強盗、強姦、強制わいせつ(これらの未遂も含む)、傷害(軽微なものは対象にならないこともある)にあたる行為である。

この支援制度は、上記の行為を行ない、心神喪失者又は心神耗弱者と認められて不起訴になった人、心神喪失を理由として無罪の裁判が確定した人、心神耗弱を理由として刑を減輕する旨の裁判が確定した人(実際に刑に服する人は除く)を対象とし、適切な医療を提供し、社会復帰を促進することを目的としている。

□医療観察法に基づいて処遇され、支援を開始した者の内訳(単位:人)及びケア会議回数

年度	区分	殺人	放火	強盗	強姦	強制わいせつ	傷害	ケア会議(回)
22 年 度		0	0	0	0	0	0	19
23 年 度		0	0	0	0	1	0	14
24 年 度		0	0	0	0	0	1	11
25 年 度		0	0	0	0	0	1	21
26 年 度		0	1	0	0	0	1	12

[4] 自殺・うつ病の予防

(1) 自殺・うつ病の予防対策委員会

セーフコミュニティ活動における10項目の重点課題のひとつとして、平成23年1月より「自殺・うつ病の予防対策委員会」を設置し、データ分析や活動の評価、改善策の検討を行なっている。対策委員は、豊島区医師会、豊島区薬剤師会、豊島区民生・児童委員、地域生活支援センター、豊島区民社会福祉協議会、東京都立精神保健福祉センター、池袋労働基準監督署、警察署及び庁内関係者である。26年度は、若者の自殺予防対策を推進するために、大学院生、ふぉー・てぃー(P183参照)スタッフがオブザーバーとして参加した。

□実施状況

年度	区分	実施回数 (回)	参加委員 (人)	26年度の主な内容
23年度		4	62	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の自殺者の動向分析 ・若者の実態について学ぶ 区内大学院との検討会等の報告 「若者のいのちを守る」ハートプロジェクト ・教育現場の取組みについて 「豊島区いじめ防止対策推進条例から」 ・再認証に向けた「連携・協働」について
24年度		2	30	
25年度		2	33	
26年度		2	43	

(2) 普及啓発

自殺・うつ病に関する偏見をなくし、正しい知識を普及するための情報を発信している。

□26年度実施状況

区広報・ホームページ	広報9月1日号「気づいてください！体と心の限界サイン」 広報10月1日号「こころに注意信号があるときは、早めの対応が大切です」 広報2月21日号「気づいてください！体と心の限界サイン」 区ホームページ「自殺予防」
その他	ポスター掲示(240枚)・メッセージカード配布(5,600枚) 中央図書館特集展示(9月・3月)でパンフレット配布 講演会等でのパンフレット配布

(3) ゲートキーパーの養成

相談窓口をはじめ地域で活動する方が、周囲の人の変化に気づき、声をかけ、必要な相談機関や専門相談につなぐことにより、自殺に至る要因の連鎖を断ち切ることを目的として、「ゲートキーパー」養成講座を実施している。

平成24年度からセーフコミュニティ認証を機にゲートキーパーを3層に分類して、体系的な養成を目指している。

I層：ゲートキーパーの指導者。「東京都」が行う研修等を受講した人。

II層：地域や職場で活動、役職等でゲートキーパーとしての役割が期待できる人

III層：友人・家族・近隣の人など身近なゲートキーパー

□実施状況(再掲)(平成23年度まで)

年度	区分	実施回数(回)	参加人数(人)	対象
22年度		4	69	区民ひろば職員、区民
23年度		2	34	区民ひろば職員

※23年度までは東京都ゲートキーパー指導者養成研修会に4名の職員が参加。

□実施状況(再掲) (平成24年度から)

(単位：人)

年度 \ 区分	I 層	II 層	III 層	計	対象
24 年 度	1	111		112	薬剤師、理美容師、クリーニング店、区職員
25 年 度	4	100	60	164	薬剤師、弁護士、介護サービス事業者、民生・児童委員、区民ひろば職員、コミュニティソーシャルワーカー、区民
26 年 度	2	117	254	373	民生・児童委員、区民ひろば職員、コミュニティソーシャルワーカー、ふぉー・てぃースタッフ、区内大学院生、区民、区職員

(注) I 層は、都の研修受講者。

(4) 面接・電話相談

保健師・福祉職による随時相談を実施している。

□自殺相談件数(再掲)

(単位：件)

年度 \ 区分	訪問	面接相談	電話相談
22 年 度 (延件数)	0	26	37
23 年 度 (延件数)	0	20	32
24 年 度 (延件数)	2	14	21
25 年 度 (延件数)	4	10	28
26 年 度 (延件数)	2	8	31